

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な行政運営		H32	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画前期基本計画の1-6-(2)、4-4-(5)で目標としているため			
活動指標	指標	a	職員研修事業	b	自衛官募集事務事業	c		d
	数値	目標	—	目標	—	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H27	H28	H29
適正な行政運営		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H27	H28	H29
a 職員研修事業	件	19 件	16 件	14 件
b 自衛官募集事務事業	人	4 人	7 人	7 人
c		—	—	—
d				

4. 課題と対応

課題
人件費の総額は減少傾向にあるが、時間外手当は増加傾向にある。
対応（改善点等）
職員に対して働き方の意識改革に係る研修を行い、結果として時間外勤務の減少に取り組む。

5. 事業費・・・H27～H29（決算額）、H30（予算現額）

決算額（千円）		H27	H28	H29	H30
		107,591	106,632	106,272	134,872
うち経常経費		103,149	106,488	105,342	134,872
財源内訳	国 県 費	127	27	27	27
	地 方 債				
	そ の 他	10,438	1,388	2,541	6,262
	一般財源	97,026	105,217	103,704	128,583
うち経常		97,026	105,218	103,704	128,583

6. H31年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
一般行政事務の経常経費の削減に努める

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 一般行政事務である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 一般行政事務であるので、行政が担う。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な行政運営である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 ほぼ成果は上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き経費の削減、事務の効率化を推進し、適正な事業実施に努めること。

2. 指標設定

成果指標	指標名	健康の保持・増進		目 標 年 度	—	指標の設定理由			
	数値	—				職員の安全と健康保持・増進を図り、快適かつ健康的な職場環境を整備する必要があるため。			
活動指標	指標	a	職場復帰率	b	健診受診率	c		d	
	数値	目標	100%	目標	100%	目標		目標	

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H27	H28	H29
健康の保持・増進		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H27	H28	H29
a 職場復帰率	件	—	1 件	5 件
		—	25.0 %	62.5 %
b 健診受診率	件	534 件	516 件	516 件
		98.8 %	98.9 %	100.0 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
メンタル不調の早期発見及び回復に向けた支援体制の整備。 2次健診受診率の向上。
対応（改善点等）
メンタルヘルス研修、相談事業及びストレスチェック事業等を通してメンタル不調者の改善を図っていくとともにその発生を防ぐ。 2次健診受診者の把握及び未受診者への声かけに努める。

5. 事業費・・・H27～H29（決算額）、H30（予算現額）

決算額（千円）		H27	H28	H29	H30
		9,034	9,603	10,041	10,932
うち経常経費		9,034	9,603	10,041	10,932
財源内訳	国 県 費				
	地 方 債				
	そ の 他				
	一般財源	9,034	9,603	10,041	10,932
うち経常		9,034	9,603	10,041	10,932

6. H31年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
職員の健康保持・増進については、労働安全衛生法等の規定に基づく事業者の責務であるため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 職員の健康保持・増進については、関係法令の規定に基づき行われる事業である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 事業者の責務である。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 方法や基準等は関係法令に基づいている。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	2 職員健診率は活動指標目標を達成したが、メンタル不調等による職場の休職者が依然として存在する。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き適正な事業実施に努めること。

2. 指標設定

成果指標	指標名	安全・安心度		目標年度	H32	指標の設定理由			
	数値	910件未満 (犯罪・交通事故件数)				総合計画前期基本計画の3-7-(1)、3-7-(2)で目標としているため			
活動指標	指標	a	交通安全活動の参加者数	b	防犯パトロール隊結成数	c		d	
	数値	目標	17,215人	目標	35隊	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H27	H28	H29
安全・安心度	件	854 件	870 件	868 件
	%	106.6 %	104.6 %	104.8 %

活動指標名	単位	H27	H28	H29
a 交通安全活動の参加者数	人	18,205 人	20,285 人	21,345 人
		105.8 %	117.8 %	123.9 %
b 防犯パトロール隊結成数	隊	34 隊	34 隊	34 隊
		97.1 %	97.1 %	97.1 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
交通事故は、人身事故は減少傾向にあるが、物損事故を含めた総数は増加傾向にある。
対応（改善点等）
交通安全関係機関と連携して、交通事故防止活動（啓発活動等）、特に高齢者に対する免許証自主返納啓発を強化する。

5. 事業費・・・H27～H29（決算額）、H30（予算現額）

決算額（千円）		H27	H28	H29	H30
		20,670	18,385	21,420	23,204
うち経常経費		12,259	9,991	11,780	9,054
財源内訳	国 県 費	6,023			
	地 方 債				
	そ の 他	357	4,609	6,035	12,500
	一般財源	14,290	13,776	15,385	10,504
	うち経常	11,902	7,864	9,345	8,504

6. H31年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
平成30年度より、運転免許自主返納支援助成金、犯罪被害者等見舞金が新設されたが、事務事業の効率化を図り、予算の増加を抑制する。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 交通事故や犯罪から市民を守り、安心して生活することができる環境を提供するためには必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 交通安全対策基本法等により、国、地方自治体、住民の責務が定められており、市の責務が発生する。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 安全・安心なまちづくりを推進するうえで適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 平成29年度の成果指標 安全・安心度は100%を上回っており、期待したとおりの成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き適正な事業実施に努めること。

2. 指標設定

成果指標	指標名	市民との情報の共有化	目標年度	H32	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画前期基本計画の3-10-(2)で目標としているため			
活動指標	指標	a	広報事業	b		c		d
	数値	目標	年12回発行	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H27	H28	H29
市民との情報の共有化		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H27	H28	H29
a 広報事業	回	12回	12回	12回
		100.0%	100.0%	100.0%
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
紙面の量に対して掲載依頼の量が多いため、取捨選択して掲載している。
対応（改善点等）
限られた紙面に優先度の高い情報を提供するとともに、他の情報媒体(CATV)との連携を図る。

5. 事業費・・・H27～H29（決算額）、H30（予算現額）

決算額（千円）		H27	H28	H29	H30
うち経常経費		12,122	12,338	10,529	13,101
財源内訳	国県費	659	654	649	652
	地方債				
	その他	16	14	12	14
	一般財源	11,447	11,670	9,868	12,435
	うち経常	11,447	11,508	9,868	12,435

6. H31年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
情報発信等サービスの維持のため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 広く情報提供するため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政情報を取り扱うため
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 おおむね広く享受されているため
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 本市が目標とする協働のまちづくりの基本となる情報の共有化を柱として非常に有効である

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き情報提供の効率化及び公聴事業の推進を図り、適正な事業実施に努めること。

2. 指標設定

成果指標	指標名	支所・公民館の整備	目標年度	H32	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画前期基本計画の4-4-(3)で目標としているため			
活動指標	指標	a	説明会の実施	b	事業実施	c		d
	数値	目標	—	目標	9施設	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H27	H28	H29
支所・公民館の整備		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H27	H28	H29
a 説明会の実施	回	—	—	12 回
b 事業実施	施設	—	—	—
c				
d				

4. 課題と対応

課題
利用者の要望が多岐に及ぶため、全ての要望に対応することは困難である。また、貸付け等を行っている他団体等への対応が喫緊の課題となっている。
対応（改善点等）
要望等の公共性を検討し設計に反映する。 他団体等の対応については、継続的に協議を行う。

5. 事業費・・・H27～H29（決算額）、H30（予算現額）

決算額（千円）		H27	H28	H29	H30
うち経常経費				33,835	80,195
財源内訳	国県費				0
	地方債				74,100
	その他			18,110	
	一般財源			15,725	6,095
	うち経常			0	0

6. H31年度予算の方向性

方向性
増額
理由
設計業務を完了し、支所・公民館の建設を行っていくため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 地域コミュニティの活動拠点が確保できるとともに、有事の際の防災拠点機能の強化が図れるため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 施設の整備は、行政の責務であるため。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 市民説明会や自治委員への説明を行い、要望等を反映しているため。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	1 事業が完了していないため。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	新庁舎、公民館の整備に向け、遅滞なく事業実施を行うこと。

2. 指標設定

成果指標	指標名	防災環境の向上		目標年度	指標の設定理由				
	数値	—			H32	総合計画前期基本計画の3-8-(1)で目標としているため			
活動指標	指標	a	自主防災組織防災訓練実施件数	b		c		d	
	数値	目標	30件	目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H27	H28	H29
防災環境の向上		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H27	H28	H29
a 自主防災組織防災訓練実施件数	件	20 件	31 件	20 件
		66.7 %	103.3 %	66.7 %
b				
c				
d				

4. 課題と対応

課題
地域防災力の向上を図るためには、更なる自主防災組織の組織化、活動の活性化が必要。
対応（改善点等）
地域の防災リーダーと期待する防災士のフォローアップを図るとともに、地域での防災訓練実施を促進する。

5. 事業費・・・H27～H29（決算額）、H30（予算現額）

決算額（千円）		H27	H28	H29	H30
		48,702	36,352	39,203	33,693
うち経常経費		19,319	18,866	22,024	29,242
財源内訳	国県費	28,009	431	181	166
	地方債				
	その他		14,089	1,360	1,901
	一般財源	20,693	21,832	37,662	31,626
うち経常		19,319	18,854	21,624	29,242

6. H31年度予算の方向性

方向性
増額
理由
現行のアナログ防災行政無線を、新しい防災行政無線システムへ変更することから予算増額の見込み。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 災害から市民を守り、安心して生活することができる環境を提供するためには必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 災害対策基本法により、国、地方自治体、住民の責務が定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 災害に強いまちづくりを推進するうえで適切な手段であるため。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	2 防災資機材等の充実が図られる一方、活動指標である自主防災組織訓練実施件数は目標に達していない。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き適正な事業実施に努めること。